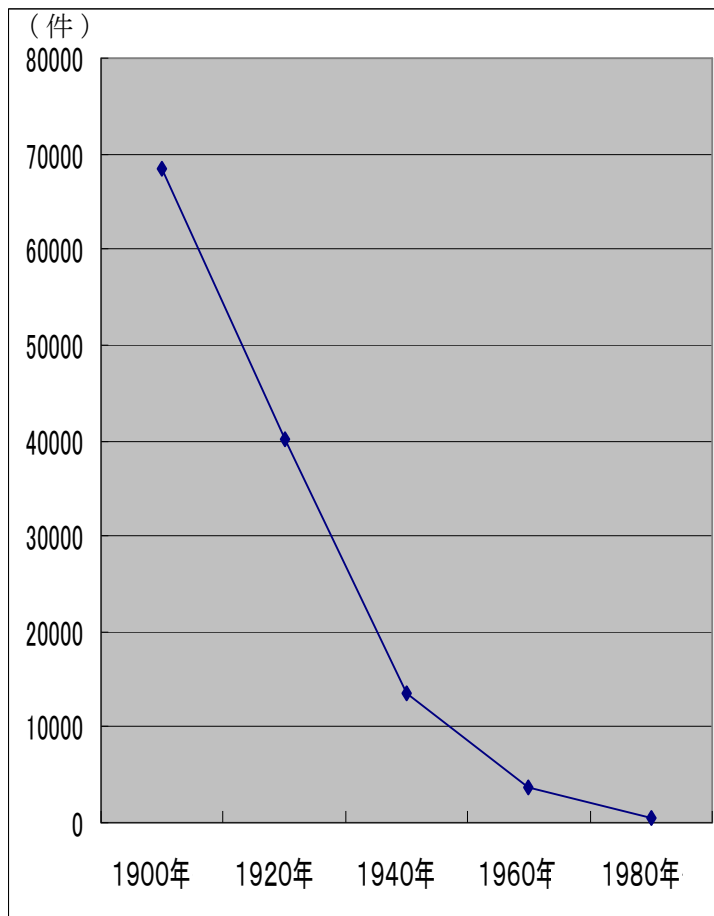


大山さんは、総合的な学習の時間に阿波和紙について調べました。そして、大山さんは、集めた【資料1】と【資料2】をもとにして【和紙新聞の下書き】を作りました。【資料1】【資料2】【和紙新聞の下書き】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。（*段落のはじめにある①から④までの番号は段落の番号を表す。）

【資料1】

- ① 阿波和紙は、ふすまやしように紙、書道用紙など身近なものに使われていました。
- ② 阿波和紙職人は、むかしながらのわざで、紙を一枚一枚ていねいにすいていきます。このとき、化学薬品をほとんど使わず、自然の材料のもつよさを生かして作ります。このように作られた阿波和紙は、はだざわりがやさしくあたたかみがあります。また、やわらかいのにおどろくほど強いのです。阿波和紙は、多くの人に愛用されてきました。
- ③ ところが、機械で安い紙が大量に作られるようになりました。そのうえ、日本人の生活が大きく変わり、和紙を利用した日用品が使われなくなりました。
- ④ そのため、和紙職人の家の数も、大きく②ことになりました。その中で、阿波和紙作りのわざを守り続けている人たちがいます。
- 「どんな注文にも応じた紙をすけること。それが名人のわざであり、ほこりな

「和紙職人の家の数」



(ホームページ『紙の道』)より



【和紙をすいている様子】

【資料2】

す。和紙作りなど、むかしから伝えられたわざの高さが、最近、見直されています。

とかれらは言います。和紙作りに終わりはありません。パソコン用紙や文具など、和紙を利用したさまざまな品が開発されています。自然にやさしい

のです。」

和紙新聞

特集 阿波和紙を未来に

令和三年七月二日発行

①

阿波和紙には、次のようなよさがある。

- はだかわりがやさしい。
- あたたかみがある。
- やわらかいのに、おどろくほど強い。

最近、阿波和紙作りのよさが見直されている。

- 手作りだから・・・
- 化学薬品をほとんど使わないから・・・

和紙職人の家の数
大きく

②

かつて、七万戸に近かった和紙職人の家の数も...。その理由として次の二つがあげられる。

○理由1

③

○理由2

日本人の生活が大きく変わり、和紙を利用した日用品が使われなくなったから。

阿波和紙のわざを受けつぐ職人たち

阿波和紙作りのわざを今も守り続けている人たちがいる。



【阿波和紙で作ったせんす】

一 【新聞の下書き】の中の新聞の見出し ① には、どのような言葉が入

りますか。あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

ア 阿波和紙の作り方

イ 阿波和紙のすばらしさ

ウ 和紙作りの見直し

エ 阿波和紙の伝とう

二 【資料 1】と【新聞の下書き】の ② には同じ言葉が入ります。あと

のアからエの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

ア ふえる

イ 求める

ウ 進める

エ へる

三 【新聞の下書き】の ③ には、和紙職人の家の数が【資料 2】のよう

になった理由を書いています。 ③ に入る言葉を、【資料 1】の中から見つけ

て、二つ目の理由と同じような書き方で書きましよう。

【「わくわく和紙会館」からのお知らせ】

すきすき和紙っ子だより 夏休み号

わくわく和紙会館

楽しく体験！

和紙会館では、開いている日に『紙すき体験』ができます。原料から和紙になるまでを楽しく体験しましょう。



★和紙会館が開いている曜日・時間

火曜日から日曜日 午前9時から午後5時まで

★休みの日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日の場合は火曜日）

◆イベント◆

夏休みのわくわく和紙教室

絵手紙教室

「絵手紙で暑中みまい」

・7月27日（日）

午後1時～3時

・参加費1名

700円

ちぎり絵教室

「うちわにちぎり絵」

・8月23日（土）

・午前10時～12時

・参加費1名

2500円

★

いっしょに
作りましょう。

ぜひ、おこしく下さい。



四 大山さんは、和紙会館で紙すき体験をしてみたかと思いましたが、「わくわく和紙会館」からのお知らせです。よく読んであとの問いに答えましょう。

① 大山さんは、「わくわく和紙会館」に行く日を「七月十五日・海の日（月曜日）」か、「七月十六日（火曜日）」のどちらかの一日に決めました。【「わくわく和紙会館」からのお知らせ】の内容から考えて、決めた日とその理由を書きましょう。
（ただし、理由は、月曜日と火曜日という二つの言葉を使って書くこと）

月	日	曜日
【決めた理由】		

② ちらしの中の★に入る言葉でもっともふさわしいものを、あとのア～エの中から一つ選んでその記号を書きましょう。

- ア どなたでも、見ることができます。
- イ どなたでも、参加することができます。
- ウ どなたでも、買うことができます。
- エ どなたでも、売ることができます。

一
イ

二
エ

三

四
①

機械で安い紙が大量に作られるようになったから

○ 「くから。」という文末になっていること。

七 月 十 五 日 月 曜 日

例 わくわく和紙会館の休みの日は月曜日であるが、七月十五日(月)は海の日で祝日のため、次の日の火曜日が休みになるから。

○ 「月曜日」と「火曜日」の二つの言葉を使って書いていること。

②
イ